

認知症状のある人との

そのときの合気術③

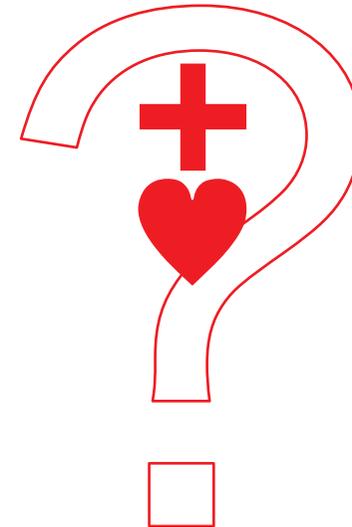
認知症状ヘルプカードを考える

認知症状のヘルプカードは、個人の尊厳が何よりも大切です。尊厳がキーになります。

同じ目的で考えられるヘルプカードの中でも、認知症状のある人に対するヘルプカードは、本人の希望を聞いてつくる…というカタチでは対応しきれない課題が多く残ります。認知症状のある当事者が自分の状況を把握できているか否か、その人の尊厳を維持するために必要なコトがどのようなことなのか、ヘルプの内容が可能な内容なのか…などが複雑に関係します。

孫子の兵法に曰く…敵を知り、己を知らば、百戦これ危うからず。
当事者発見 叶わざるときは、（ケアラーが）当事者発見を知り、当事者支援の方法を知らば、是、双方笑顔の毎日なり…ということになりそうです。当事者の尊厳より思い出すことこそ大切です。

認知症状の人のヘルプカードは
当事者への対応が基本。
カードをつくることで
ケアラーご自身のヘルプにも…



当事者とケアラーとサポーターの情報共有

この冊子は個人的な考え方をまとめたものです。アドバイス・ご提案などございましたら、下記 HP のお問合せからご連絡をお願いいたします。